

NEWS RELEASE

Meiji Seika ファルマ株式会社
KMバイオロジクス株式会社

2021年10月4日

報道関係各位

動物薬事業の統合新会社 「明治アニマルヘルス株式会社」の設立に関するお知らせ

明治ホールディングスの事業会社である Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林大吉郎）と KMバイオロジクス株式会社（本社：熊本県熊本市、代表取締役社長：永里敏秋）は、動物薬事業をさらに強化、成長させるため、2022年4月1日に両社の動物薬事業を統合し、両社が保有する動物薬事業（KMバイオロジクス生産部門を除く）を分割承継する会社として「明治アニマルヘルス株式会社」を設立します。詳細は以下の通りです。

記

1. 明治アニマルヘルス株式会社設立の目的

明治グループの医薬品セグメントである Meiji Seika ファルマと KMバイオロジクスは、2023 中期経営計画の基本コンセプトとして「事業ポートフォリオの再構築」を掲げています。両社の強みであるバイオ技術を軸に、感染症領域へ経営資源を集中し、国内のみならず海外においてもワクチンと抗菌薬のトップサプライヤーを目指します。

動物薬事業においては、「明治アニマルヘルス株式会社」の設立により製品ラインアップの拡充をはかり、より幅広くユーザーの皆様のお役に立てる会社になるとともに、国内動物薬市場におけるプレゼンスの向上を目指します。

2. 明治アニマルヘルス株式会社が目指すもの

動物薬市場の中でも、Meiji Seika ファルマは牛や豚の抗菌薬・消毒剤、KMバイオロジクスは鶏のワクチンを得意領域としています。両社の事業領域と製品の融合によって、幅広い動物種における予防から治療の包括的プラットフォームが強化され、感染制御におけるトータルソリューションの提供が可能となります。

「明治アニマルヘルス株式会社」は、これらに加え、両社の技術基盤を融合した研究開発の強化や製品導入の促進、営業組織の再編成による製品の価値最大化、牛市場への展開強化等によって、国内トップクラスの動物薬企業を目指します。また、両社が持つ動物に対する感染制御の知見・技術・情報等を基に、成長市場であり Meiji Seika ファルマが拠点を有する ASEAN 市場を中心に積極的な海外展開を進めます。

「明治アニマルヘルス株式会社」は、感染症領域を中心とした動物薬の提供を通じて動物の健康を守り、ワンヘルス・アプローチ*を推進し、安心安全な畜水産物の安定供給と生産性向上、コンパニオンアニマルとの共同生活による人々のQOL向上や心の豊かさに貢献していきます。

*人獣共通感染症や薬剤耐性菌感染症等の対策として、人、動物、環境の衛生に関する分野横断的な課題に対し、関係者が連携してその解決に向けて取り組むこと。

3. 明治アニマルヘルス株式会社の概要

(1) 名称 (英文表記)	明治アニマルヘルス株式会社 (Meiji Animal Health Co., Ltd.)
(2) 本店所在地	熊本県熊本市北区大窪一丁目6番1号
(3) 代表者の氏名	廣瀬 和彦 (代表取締役社長)
(4) 事業内容	動物用医薬品の製造販売
(5) 資本金	1億円
(6) 設立年月日	2022年4月1日
(7) 株主構成	Meiji Seika ファルマおよびKMバイオロジクス 出資比率 = 49.7 : 50.3
(8) 従業員数	約100名

以上